

いつも、インシデント報告ありがとうございます

2014.7.30

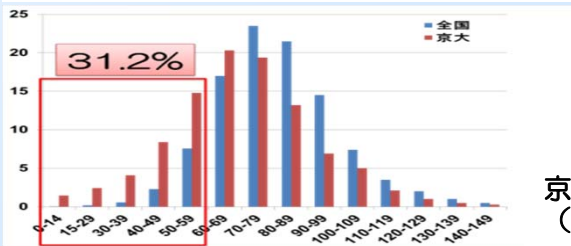
# 京大病院医療安全情報58

## 【造影剤腎症予防対策 第1.2版が発行されます】

### 造影剤腎症

(CIN: Contrast Induced Nephritis)

ヨード造影剤投与後、72時間以内に血清クレアチニン(SCr)値が前値より0.5mg/dL以上または25%以上増加した場合を造影剤腎症と定義する。



### 2014年2月に京大病院で造影CTをオーダーされた腎機能の内訳

造影CT検査におけるeGFR値の内訳  
2014/2月度

eGFR値	件数	%
60~	815	69%
45~60	200	17%
30~45	43	4%
~30	13	1%
N/A	92	8%
検査中	20	2%
総数	1183	

eGFR値	入院	外来
~45	23	33
検査中・N/A含まず		

1~2名程度/日

京大病院には腎機能低下している患者さんが多い  
(3人に1人の割合)

生食水投与はCIN発症のリスクを減少させるか?



### 腎障害患者におけるヨード造影剤使用に関するガイドライン 2012

生食水、重曹輸液などの輸液製剤を造影検査前後に経静脈的投与をすることを推奨する。  
(推奨グレード:A) 造影CTでは、eGFR 45mL/min/1.73m<sup>2</sup>未満

輸液 (入院用) 生食水を 1ml/kg/hrで造影前後6時間 輸液する

輸液 (外来用) 重曹輸液を 3ml/kg/hrで造影前後1時間 輸液する

輸液 外来用セツ		BW40	属性	プレビュー	印刷
+	点滴	薬剤略称	用量/単位	Day1	
	点滴	炭酸水素Na静注1.26%バッグ(1L)	1Bag	1回	
	点滴	*点滴速度 120ml/h			
		投与経路:末梢ルートメイン1			

腎機能障害時の輸液は、推奨する輸液メニューを準備しています。  
造影剤腎症予防対策の「4. 腎機能障害時の輸液」を参照ください。

インシデント報告に基づいた「マニュアル」です

## 京大病院医療安全情報58

# 造影CT,MR検査では、検査前の腎機能チェックが必要です。

### 造影剤腎症予防対策 第1.2版

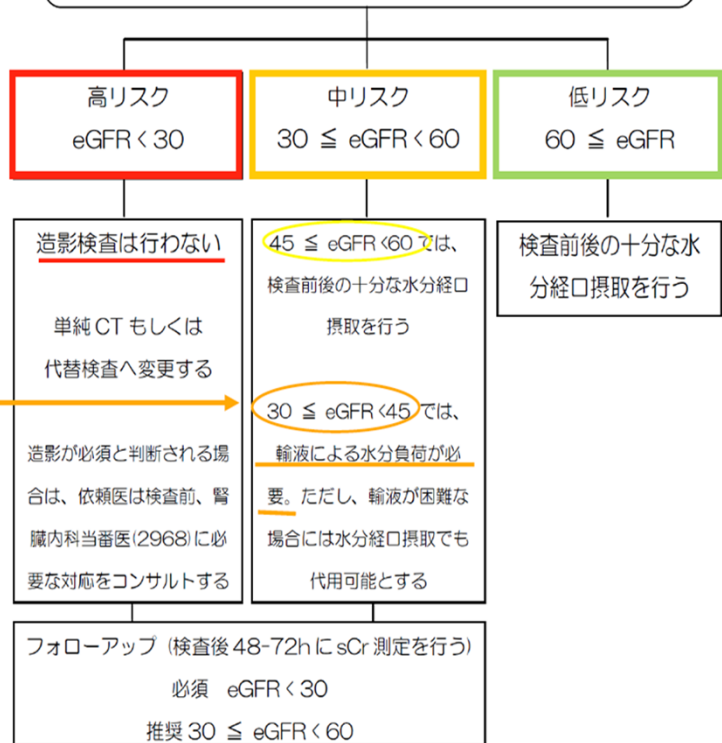
2014.6.5

京都大学医学部附属病院 放射線部・腎臓内科・医療安全管理室

### 造影CTのフローチャート

参考)京大病院 安全管理マニュアルより

対象: 18歳以上  
期間: 造影検査前3ヶ月以内(入院では1週間以内が望ましい)  
方法: sCrから求めたeGFR(単位 ml/min/1.73m<sup>2</sup>)を基準とする



eGFR45以下では輸液による水分負荷が必要です!

外来患者では、各科外来で検査前後の輸液を行います

詳細はKINGの安全管理マニュアルをご確認ください。

医療安全管理室作成